

モニター通信 No.3

皆さんから寄せられた「モニター通信9月分」を紹介します。

「電気料金の自由化について」 ～電力の小売りについて思うことはありますか？～

モニターから No. 1

電気料金の自由化が始まってから半年が経ちました。私の家でも電力会社の変更を検討したことがありましたが、色々と比較した結果、現状のまが一番お得だったのでそのままになっています。正直、東日本大震災の際の原発事故を考えると、もっとエコでクリーンな発電を行っている業者に変更したい気持ちもありますが、実際にはどうしても経済的な事情を優先させてしまっています。

一社独占でなくなったのはとても良い事だと思いますので、今後また各社サービス内容の改善等があれば、その都度検討したいと思っています。

モニターから No. 2

電気料金が一般家庭まで自由化となって月日が経ちましたが、今までの電力会社から他社へ契約変更した家庭は非常に少ないとのことで、私はなるほどと思うと同時に、その原因は国民への周知が十分でなかったと思われれます。たまに新聞広告等で見かけるのが、電気と抱き合わせによる料金ダウンの内容があるようです。

私の家は現在、電気温水器を給湯設備としIHクッキングヒーター使用でオール電化しており、「電化上手」※の契約を締結しております。電力会社に電話したところ、この契約が一番安い料金設定されており、他社ではマネ出来ないとのことです。電気料金は自由化後も経産省の認可が必要とのことなので、事業者間でそれほど大きな違いはないと思います。

東京電力が分社化し、小売業は「東京電力エナジーパートナー」と呼称されるようです。福島第一原発の廃炉への地道な努力へ、分社化し会社は違うかもしれないが、少しでも役立つことを願うばかりです。

※夜間蓄熱式機器使用が利用条件 2016年3月31日をもって新規加入の受付を終了
(東京電力エナジーパートナーホームページより)

モニターから No. 3

今回のテーマを確認するまで、電力自由化を忘れていました。我が家は2軒分の電気料金を支払っています。今回のテーマを機にネットで調べ始めました。そうすると同じTEPCOでも料金が違っていたり、契約年数が決まっていたり、他の会社でも何か別のことも一緒に契約したり。何の縛りも無いのも不思議だし。数年に1回の漏電チェックはTEPCO以外でもやってくれるのかしら？

しばらく様子を見ようと思いました。

モニターから No. 4

今年4月1日より電力の小売り全面自由化がスタートしました。ガス・携帯電話・石油元売り等が参入した新電力の多彩な電気料金プランが顧客獲得に乗り出しました。今までは東電が独占していましたが、これほど思い各社のプランを分かる範囲で見比べました。その料金は各社とも、主力商品と抱き合わせで今の電力料金より安くなりますとのことでした。

また、対抗するT電は新電力より遅れて料金案を示しましたが、対抗する節約料金各社より多めに出していました。こうした中で、全国一般家庭6,200万所帯のうち新電力に契約したのは1.2%にとどまったとのことでした。

私も我が家の電力料金を検討しましたが、上位で節約が出来ると思われること、新電力各社のサービスプランを見極める必要があること、そして最近頻繁に起きる震災での対処等を考えると現状のままと考えました。より確かでより安全な電気は、事を急がずじっくり構えて来年・再来年でもよいと考えました。今、盛んにTVを主体に新電力各社は宣伝に躍起になっていますが、加入して欲しいならもう少し丁寧に説明する必要があるとこのことを付け加えたいと思います。

モニターから No. 5

業者さんから何度か電力自由化の話を聞きました。何と何を組み合わせたら電気代が安くなりますから我が社と契約をして下さいと言われてきました。当面安くなりますという以外、将来何がどう変わっていくのか専門知識を持たない私にはサッパリ分かりません。大口事業者等は別として、私たち普通家庭には特にメリットもないのではと思っています。電気代が高くなれば節電生活に切り替えます。

先日、暮らしのセミナーで最終処分場を見学させて頂きました。土浦市民が分別ごみ出しに協力しているので、埋め立て地が予定より長く使えるというお話でした。ゴミ減量と分別に微力ながら協力しようと思いました。

電気料金の自由化やゴミ問題だけでなく、ちょっとした商品の買い物でも信頼できる専門家の助言の必要性を感じます。悩ましい切ない願いです。

モニターから No. 6

訳が分からないうちに電気の自由化が始まってしまっていたような気がします。我が家はそのままT電にお世話になっていますが、今後他社も含め、もし何かお得なプラン料金設定などありましたら、乗換も視野に入れ検討していきたいと考えております。

モニターから No. 7

4月の電力小売りの全面自由化から半年余り。我が家は今まで通りの契約形態です。多種多様な異業種会社が次々と新規参入し、いろいろなプランと付加価値がつくことをアピールしていたが、結局変えなかった理由は、インターネットの比較サイトを利用して、今のままが一番安価であることが分かったからです。いろいろな特典に目がくらんで変更してしまってから、携帯電話の契約のように、契約期間が設けられたりする場合があるので、気を付けないといけないと思います。

様々なサービスとのセット割やポイント付与など一見、魅力的ですが、特典が本当に有利か、

また家族構成や電気を主に使う時間帯などを考慮して、自分に合ったプランを選ぶようにしたいと思います。

モニターから No. 8

《消費生活に係わること》

今年は大形の台風が次々と押し寄せ、異常なほどの大雨をもたらし、九州のみならず日本中を巻き込み、各地に大変な被害を残した。種子まきの時期にはなかなか雨が降らず、収穫時期は予期せぬ大量の雨・風と、この世はままならない。北海道の大雨の影響でジャガイモ・玉ねぎ、その他の作物も、この秋冬の高値は免れそうにない。そろそろ肌寒くなり、おでんやお鍋が恋しくなる時期、お鍋の中身が気になる。

かねてから商品を見る目を養い、季節の物・旬の物を美味しく料理する腕と、経済的で体に良い食物を選び、家族の健康にも気を配りたい。

モニターから No. 9

今年4月より一般家庭用の電力自由化が実施されまして契約先が選べるようになりましたが、電力関係の説明は各社とも価格優先のPRで、本当にこれで大丈夫なのかと思われ不安を感じます。自分で検討していても確かに価格が安いに越したことはないと思いますが、故障とかメンテの問題はどうなのか。確かに各会社の説明では今まで通りと変わりませんとありますが、一抹の不安は拭いきれません。

現在、電気はほとんど止まらず空気と同じように感じ、普段の生活を過ごしています。しかしいったん停電すると、電気なしの生活は考えられません。もし大停電が起きるとパニック状態が想定されます。そこで、電力小売り制度の活用にあたっては目先ばかりでなく、長い目で色々と想定される問題事項を検討・吟味し、決定することが大切だと思います。

モニターから No. 10

永年、良くも悪くも従来どおりの大手企業からの電力供給については、今回のことがなければ、それほど国民的な議論にもならなかったのでは、と思います。未だに各社各様様々な言い回しで、自由化による利点得点等パンフレットや電話で勧誘が行われています。電気料金が値上がりしないか、あまり実績のない企業だと、咄嗟の災害時の対応は大丈夫か、倒産は、不安は払拭されません。

一番重要なことは、供給の安定性ではないだろうか。企業間の競争が激しくなり、余分な設備もないことから、想定外のトラブルが発生した場合の電力供給のバランスがくずれ、大規模な停電が起りやすくなる可能性は？簡単に電力の自由化に名乗りを上げ、軌道に乗る前に、撤退、では消費者として一層不安を助長することも、(仮に新電力がトラブルなどで十分な電力を確保できなかった場合、既存の電力会社が不足分を補う、ことになっている、ようです) 政府としても、新企業の導入を促進する立場から、消費者へのサービスを重視し、なおかつ電力供給の安定化を最優先に考え指導を強化していただきたい。送電設備は従来の送配・電網を引き続き利用するので、電気の品質や信頼性は一切変わらないと思いますので、自由化によるメリットを充分吟味してみて、各家庭の条件に合致した商品を選定すれば、と思います。

従来の原発依存から、環境に配慮した電気、再生可能エネルギーの拡充、二酸化炭素排出量の

少ない電気など、今後超高齢化社会に向かう日本に特化したサービスも含め、この電力の自由化がその一翼を担う、ことも考えられました。

モニターから No. 11

電気料金が自由化されたのは、使う側にとっては契約の選択肢が増えたので良い事だと思います。けれど、あまりにたくさんで・・・どこを選べば良いのかまるで分からず・・・で、結局依然と同じ電力会社のままです。

市の広報あるいはお知らせみたいなもので、それぞれの特色を明記した一覧表を載せて頂けたらとてもありがたいと思うのですが、そういうわけにはいかないものでしょうか！？日本の電力供給はどうなっていくのでしょうか！？よく考えていかなければと思っています。

モニターから No. 12

何でも独占的な営業法は問題が生じてくる危険があると思います。以前、何かで（テレビだったと思う）知ったのですが、アイスランドでは火山の地熱利用の発電所が3割、あとは水力発電等の自然エネルギーを使っている。世界で注目されているとのことだった。もちろん、そのまま取り入れられるとは限らないが、火山国の日本では水力と共に有効ではないかと思った。

一つの方法にこだわり過ぎたり、途中から引き返せなかったり、原発を作り過ぎたり。安全神話は完全に崩れたので、引き返すしかないと思います。根本的なことをもっと議論して欲しいと思います。

モニターから No. 13

電力の自由化が我々の生活に恩恵をもたらしてくれるのかどうかは、まだ始まったばかりではっきりとした結論は出ていませんが、発電方法、料金等、自分のライフスタイルに適した電気を自由に選べるようになったことは喜ぶべきことかもしれません。今までは大手電力会社のみでしたが、自由化によって通信会社、ガス会社、さらにはコンビニまでもが参入してくるようになりました。これだけ増えるとその会社に対して、品質に問題はないのか、停電しやすくなるのではないか、もしも契約先が倒産してしまった場合はどうになってしまうのか等、いろいろな心配が出てきます。

また、新しい制度が始まると、それに便乗した詐欺が必ずと言っていいほど生まれます。割引は私たちの生活にとってはありがたいことですが、いろいろな角度から検討して考えたいものです。

モニターから No. 14

電気と言えば「東京電力」という固定観念がありましたが、今年の初め知人の方より電気会社の乗換を勧められ、毎月の使用料金から割り出し格安になるとのことで、某エネルギー（株）に変えました。早々に手続きをしたので、その後の他社からのアプローチにも迷わず返答できました。

電気料金の自由化に伴い各社の競争になりましたが、各家庭での使用料によりリスクがあるので、十分な検討が必要かと思っています。

モニターから No. 15

電力の自由化が始まる時に、いったいどんな風になるのだろうと家族で話しました。すると我が家はオール電化でソーラーからの売電をしているから、東電でないとだめじゃない？との一言で、その後調べることもしていません。一方テレビでの情報によると、元々使用量の多い家庭にはだいぶエコになると聞いていたため、相当数の方が新しい電力へ移行すると思っていた。しかし（これもテレビでの情報）確か一割程度の利用率とのこと。まだみんな様子見の段階なのかなと思っています。

もっと詳しいことを学べるチャンスが欲しいと思います。でも、個々で違ってとても複雑で難しそうですね。

モニターから No. 16

電力自由化ということで、ほかの電力会社を選ぼうと思っているが、どれにしようかという大変に迷ってしまう。料金だけの比較なら、どこを選んでも、そう大きな変わりがない。一年間で数千円安くなるくらいのもので、そのくらいならちょっと節電すれば同じようなことになる。なにか自分で基準を作って、決めることになりそうであるが、まだそれが決まらない。原子力発電所を使わない会社、太陽光発電を主とする会社、その会社から電気を買うことでなにかの貢献・寄与ができる会社、なにかほかのことで得をするあるいは利益を受けられる会社等々いろいろあるので目移りがしてなかなか決まらない。

せつかくのことだから、今以てぜひ決めようと考え中である。今回のモニター諸氏のご意見を参考にさせていただこうと思う。

モニターから No. 17

2016年4月から電力小売りの全面自由化で、各家庭が自由に電気の購入先を選べるようになりました。今までは地域ごとに決まった電力会社としか契約出来ない地域独占の販売形態でしたが、ライフスタイルや価値観に合わせて価格サービスを比較して自由に選べることは非常に好ましいと思います。結果、風力や太陽光などの自然エネルギーを重視する会社や地域の発展に貢献している企業の電力を購入するといった選び方も可能になりました。

規制緩和が広がり、2017年4月からは家庭向けの都市ガスが自由化がされるとのこと。急速に変化し多様化する現代の社会情勢。情報を正しく選択できる自立した消費者を目指す必要性を改めて痛感しました。

モニターから No. 18

電力の自由化でどれだけ電力負担が減るのか知りたくて、ガス会社に見積りをお願いした。私の居住区は深夜電力を契約することが前提だったので、一般電力と深夜電力の双方を東京電力から提供を受けている。ガス会社とのガス+電力の契約をすると東京電力より安く購入できるが、東京電力は深夜電力のみの提供契約はしない。従ってどんなに消費者に有利な第二電力があっても提供を受けることは出来ず、東京電力の縛りから逃れられないことが判明した。既得権益に打ち勝って「事を構える」のは大変なことを教示した事件だった。

モニターから No. 19

《ホテル宿泊等の予約・申し込みについて》

先日、テーマパーク近くのホテルに宿泊したいとネットで探したところ、土曜のせいもあり空き室が無くあきらめていたが、繰り返すうちに目に止まったのが「一室残りあり」。値段も手頃なため、電話をして取ることが出来た。

よく見て分かったことは、同じ条件で日にちによって3倍も値段に差がある。これは仕方ないとして、実際に宿泊した時にフロントに尋ねたことは、「このホテルの正式な基本的な値段はいくらですか？」と聞くと「ありません」と答えたのは驚いた。

ネットでは「さらにお得朝食は¥2,000」とあるので申し込みをしておいたが、実際にホテルにて前日に申し込みは¥1,100、当日でも¥1,600。何か騙されたようで、しかもチェックインに前払いなため後で気付いても、何も言えない状況である。またPCを持っていない高齢者の方は、お得なサービスが受けられないのもどうかと思う。

モニターから No. 20

金融学習グループの電力会社のセミナーで自由化についての話を聞きましたが、我が家のように少量使用の家庭では、別段メリットがあるものでもないと思い従来通りにしています。若い人と同居等で大量使用の家庭では「このようにすると電気代が安くなりますよ～」と色々なメニューを紹介し、熱心に説明されていましたが、安くしてどんどん使わせるといのは本末転倒というものです。地球温暖化防止のためには、金額には関係なくさらにさらに節電を心掛けて日々生活したいものです。